

# 東区まちづくりプラン 2021年度（令和3年度）実績

## 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり

評価一覧（全33取組）	◎ 16件（49%）：進捗率100%以上
	○ 8件（24%）：進捗率50%以上 100%未満
	△ 7件（21%）：進捗率50%未満
	中止 2件（6%）：行事が中止になった

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標				2025年度	2030年度	新型コロナウイルス感染症の影響	実施時期 (変更があった場合の実施時期)	評価	取組内容	検証シートページ	
					2020年度実績	2021年度（令和3年度）										2025年度
(1)土砂災害等に対する備え	平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。		○	(ア)防災マップを作り、災害に備えよう！	防災マップを作成した町内会数	目標数：34町内会、年度末実績：28町内会			196/196町内会（2023年）	更新	小	通年	○	作成を目指した20町内会と協議を行い、14町内会は作成・配布した。残りの6町内会は、学区全体版的な避難行動が行える等の理由で作成には至らなかった。	1	
				135/196町内会	155/196町内会	149/196町内会	82%									
(2)避難行動要支援者への支援	要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。		○	(イ)「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	防災訓練を実施した地区数	1地区/年	4地区/年	3地区/年	75%	4地区/年	4地区/年	大	通年	○	4つのエリアの学区自主防災会会長等と防災訓練の実施に向けた協議を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、戸坂エリアについては実施に至らなかったが、3つのエリア（二葉、福木・温品、牛田・早稲田）については、防災訓練を実施した。	2
				対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別計画を作成した地区数	6/13地区	8/13地区	13/13地区	225%	13/13地区（2024年）	更新	大	通年	◎	避難支援者がいない43人の個別避難計画の作成支援を重点的に行い、16人の個別避難計画を作成した。その結果、未作成であった7地区（戸坂、戸坂城山、牛田新町、牛田、早稲田、中山、尾長）すべてで、個別避難計画を作成した。	3	
(3)地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化	町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。		○	(ア)次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	講演会の参加者数	— 【中止】	500人	240人 〔YouTube〕 145回視聴	77%	500人	500人	大	12月	○	12月4日に開催した東区コミュニティ交流協議会東区民大会において、これまでの内容（講演会）を見直し、地域コミュニティの活性化につながる活動をしている2団体（牛田学区社会福祉協議会、東地区保護司会）の活動発表を行った。また、大会内容を分かりやすく伝える動画を広島市公式YouTubeチャンネルで配信した。	4
				(イ)「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金	新規申請件数	3件/年	2件以上/年	4件/年	200%	2件以上/年	2件以上/年	小	通年	◎	1、2次募集で2件ずつ申請を受け付け、実績は4件となった。新規申請の掘り起こしを行うために各地区社会福祉協議会や連合町内会等に向けて、チラシや手引きを送付した。	5
(4)犯罪の起こりにくい安全なまちづくり	安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。		○	(ア)地域の安全は地域で守ろう！	防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数	3台/年	5台以上/年	6台/年	120%	5台以上/年	5台以上/年	小	4月～11月	◎	6月募集は3件4台（福田2台、尾長2台）、追加募集（9月1日～10月15日）は1件2台（上温品）の申請があり、計6台を設置した。	6
				(イ)防犯灯でまちを明るくしよう！	防犯灯の新規設置か所数	18か所/年	20か所/年	26か所/年	130%	20か所/年	20か所/年	小	通年	◎	防犯灯を21か所新設し、市からの補助を受けて町内会が新設した5か所を合わせると26か所の新規設置となった。	7
(5)交通事故のない安全なまちづくり	交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。		○	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数	— 【中止】	6回以上/年	3回/年	50%	6回以上/年	6回以上/年	大	通年	○	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、交通安全街頭キャンペーンを2回、自転車交通マナー教室を1回実施した。	8

東区まちづくりプラン 2021年度（令和3年度）実績

2 みんなで支え合うまちづくり

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指標				2025年度	2030年度	新型コロナウイルス感染症の影響	実施時期 (変更があった場合の実施時期)	評価	取組内容	検証シートページ			
					2020年度実績	2021年度(令和3年度)										2025年度	2030年度	
					目標値	実績	進捗率											
(1)認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応	認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。		○	(ア)認知症サポーターになろう!	認知症サポーター養成講座の実施校数				25校	25校	大	通年	△	5月に小学校長会及び中学校長会で開催協力を依頼した。牛田新町小学校、矢賀小学校、戸坂小学校、尾長小学校、戸坂城山小学校、早稲田中学校、二葉中学校、牛田中学校、戸坂中学校、温品中学校、広島女学院大学、比治山大学の12校で開催した。	9			
				9校 <small>小学校2/12、 中学校4/6、 高等学校2/5、大学1/2</small>	25校 <small>小学校12/12 中学校6/6 高等学校5/5、大学2/2</small>	12校 <small>小学校5/12 中学校5/6 高等学校0/5、大学2/2</small>	48%	25校 <small>小学校12/12 中学校6/6 高等学校5/5、大学2/2</small>								25校 <small>小学校12/12 中学校6/6 高等学校5/5、大学2/2</small>		
			○	(イ)認知症支えあいカフェを広めよう!	認知症支えあいカフェの設置地区数				目標数:2地区、年度末実績:2地区		大	通年	◎	温品地区において、2か所の新規カフェが開設した。また未設置3地区のうち、中山地区で設置の動きが出ている。既存のカフェは、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の期間は活動を休止したが、感染症対策を行った上で可能な範囲で活動した。	10			
				10/13地区	10/13地区	10/13地区	100%	13/13地区 (2024年)	13/13地区									
(2)高齢者の健康づくり、介護予防の推進	介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。		○	いきいき百歳体操に取り組もう!	拠点数と参加者数				目標数:519人、年度末実績:652人		大	通年	◎	中山地区と戸坂地区で2か所の新規拠点が開設した。既存の拠点は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の期間は活動を休止したが、2グループに分けて実施する等の工夫をし、感染症対策を行った上で活動した。	11			
				97拠点 2,276人	110拠点 2,204人	99拠点 2,337人	126%	155拠点 3,100人	次期プランに併せて提示									
(3)地域ぐるみの子育て支援	子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。		○	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう!	地域の子育てオープンスペースの参加者数				目標数:2,950人、年度末実績:708人		大	通年	△	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、長期間休止となった期間があったが、60回開催し、708人の参加があった。また、オンラインによる育児講座や「オンラインおしゃべり広場」は38回開催し、320人が参加した。	12			
450人	2,950人	708人	24%	3,150人	3,400人													
(4)地域共生社会の実現に向けた取組	少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくること予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。		○	(ア)「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう!	地域支えあいリストの掲載件数				目標数:29件、年度末実績:49件		小	9月	◎	協同労働、有償ボランティアを新規項目として追加した。9月に完成し、関係団体等への配付及びホームページの更新を行った。	13			
				326件	325件	345件	169%	374件	2025年度に作成									
				(イ)医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう!	医療介護関係者と地域団体が連携した地区				目標数:4地区、年度末実績:9地区		大	通年	◎	いきいき百歳体操を行う高齢者の通いの場6か所に薬剤師を派遣し、健康教育を実施した。また、早稲田地区の「地域防災プラットフォーム」に東区医師会から医師が参加した。	14			
				5/13地区	4/13地区	9/13地区	225%	13/13地区	13/13地区									
(ウ)地域共生社会実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう!	多世代の交流の場の開催地区数				目標数:4地区、年度末実績:4地区		小	通年	◎	郵便局における障害者支援事業所の自主製品の販売を継続して実施している。7月以降、東浄学区の介護予防拠点において、障害者と地域住民の交流等が開始された。また、10月から牛田・早稲田地区のウォーキング活動において、障害者支援事業所の自主製品の販売や障害者と地域住民(高齢者や子育て中の親子)との交流が始まった。	15							
4/13地区	6/13地区	6/13地区	100%	13/13地区	13/13地区													
(エ)要支援者を地域で支えよう! 【再掲】1-(2)	対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別計画を作成した地区数				目標数:4地区、年度末実績:4地区		大	通年	◎	避難支援者がいない43人の個別避難計画の作成支援を重点的に行い、16人の個別避難計画を作成した。その結果、未作成であった7地区(戸坂、戸坂城山、牛田新町、牛田、早稲田、中山、尾長)すべてで、個別避難計画を作成した。	3							
6/13地区	8/13地区	13/13地区	225%	13/13地区 (2024年)	更新													
(5)地域で取り組む生活習慣病予防	平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下(フレイル)の早期発見のため、健診受診者を増やすことにより健康寿命を延ばす。		○	(ア)元気じゃ健診を受けよう!	特定健康診査受診率				目標数:40%、年度末実績:20.2%		大	通年	○	新型コロナウイルス感染症の影響で5月～9月に集団検診を休止した時期があったが、10月の再開に合わせて健診受診動向に関する記事をFacebookに投稿した。8月に東区地域女性団体連合会と健診サポーター養成講座を開催した。10月から地区で健診サポーター会議を開催し、会議で協議した受診率向上の取組(女性会会員による声掛けやスーパー等を通じたチラシ配布、町内会やいきいき百歳体操サロンの広報等)を実施した。	16			
				22.6% (確定値)	40%	20.2% (3月末暫定値)	51%	50% (2023年度)	85%									
				(イ)野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう!	地元野菜を活用したレシピの数				目標数:2品/年、年度末実績:2品/年		小	通年 (9月～3月)	◎	若い世代が取り入れやすいように「身近な食材を使い簡単な手順でできる」レシピ2品を作成した。これまでに作成したレシピはFacebookや子育て応援アプリ、区役所食堂や展示コーナー等で啓発を実施した。	17			
				2品/年	2品/年	2品/年	100%	2品/年	2品/年									
(ウ)東区を歩いて、運動習慣を身につけよう!	①「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合				目標数:10%以上、年度末実績:10%以上		大	10月 (一)	◎	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、「健康ウォーキングのつどい」は中止した。	18							
— 【中止】	10%以上	— 【中止】	—	20%以上	20%以上													
					②週1回程度ウォーキング活動をする地区数				目標数:4地区、年度末実績:4地区		小	通年	◎	コロナ禍でもできる活動として、地域団体が主催した週1回のウォーキングの取組が温品地区で始まり、同様の取組が牛田、早稲田、戸坂へと広がった。				
					※2021年度からの追加指標				4/13地区							4/13地区		100%

# 東区まちづくりプラン 2021年度（令和3年度）実績

## 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり

項目	課題と対(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指標				2025年度	2030年度	新型コロナ感染症の影響	実施時期 (変更があった場合の実施時期)	評価	取組内容	検証シートページ
					2020年度実績	2021年度(令和3年度)									
					目標値	実績	進捗率								
(1)二葉の里歴史の散歩道などの活用	二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。		○	(ア)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう!	「ふたばの日」及び「いつでもガイド」の年間参加者数 ※2021年度指標修正				871人	911人	大	通年 (3月)	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、「ふたばの日」の定期ガイドは2月まで中止したが、3月28日は感染対策を行った上で実施した。事前予約制の「いつでもガイド」は、緊急事態宣言等の期間以外に12回実施した。	19
				— 【中止】	838人	91人	11%								
			○	(イ)「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう!	イベントの来訪者数				2,250人	2,500人	大	8月 (—)	中止	2020年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の中止を決定した。	20
				— 【中止】	2,050人	— 【中止】	—								
(2)都心の近くにある自然とのふれあいの促進	都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。		○	(ア)自然観察の楽しさを広めよう!	年間参加者数				250人	250人	大	通年 (10・11月)	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施していた自然観察会は中止した。3公民館合同の自然観察会(10月)、「牛田山ぐるっとハイキング」(11月)で、イベント実施を支援した。	21
				59人	210人	26人	12%								
				(イ)都心に近い「牛田山」の魅力伝えよう!	牛田山ハイキング参加者数				200人	200人	大	11月	○	グループ登山イベントでは一昨年よりも参加者数が減少したが(123人→68人)、いつでも登山ウィークの実施により、83人の参加があり合計151人の参加となった。	22
— 【中止】	184人	151人	82%												
(ウ)地域主催のハイキングイベントを増やそう!	ハイキングイベントの新規実施件数				1件/年 (2022年度)	累計3件	大	通年 (3月)	◎	尾長山で、「東区牛田山ぐるっとハイキング」で取り入れた「いつでも登山ウィーク」のように一定期間中に個人で参加できる方法で開催し、10人の参加があった。	23				
1件/年	1件/年	1件/年	100%												
(3)地域資源を生かした住民主体の活動の推進	東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。		○	「魅力と活力向上推進事業補助金」	新規申請件数				4件以上/年	4件以上/年	大	通年	○	1、2次募集でそれぞれ1件申請を受け付け、実績は2件となった。新規申請の掘り起こしを行うために各地区社会福祉協議会や連合町内会等に向けて、チラシや手引きを送付した。	24
2件/年	4件以上/年	2件/年	50%												
(4)大学との地域連携によるまちづくり	地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。		○	(ア)健康づくりに取り組む若者を育てよう!	健康展の出展回数				2回/年	2回/年	大	10月~11月	○	比治山大学・女学院大学ともに、健康展の開催が中止となった。女学院大学と共催で開催したが講演会で、大学生と作成した「朝食及び野菜の摂取」に関する資料等を用いて啓発し、健康展の代替とした。	25
				1回/年	2回/年	1回/年	50%								
			○	(イ)命の大切さや思いやりの心を育もう!	大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催件数				1回/年	1回/年	小	12月	◎	感染対策を講じながら12月22日に「大学生とあそぼ」を実施した。イベントの参加者は25人(子ども13人、大人12人)であった。	26
1回/年	1回/年	1回/年	100%												
(5)スポーツにふれあう機会の充実	東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。		○	(ア)地元トップアスリートを応援しよう!	東区応援団の参加者数				150人	200人	大	1月~2月 (—)	中止	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、応援団を結成しての応援は中止したが、Facebookでの応援の呼び掛けや、東区スポーツセンターや学区体育協会と連携して、メッセージを届けるなどの方法で応援した。	27
				— 【中止】	110人	— 【中止】	—								
			○	(イ)高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう!	ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数				3回	3回	大	5月~12月 (12月~2月)	△	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、10月の「エンジョイ!スポーツ祭」、2月の「ひがしくスポーツセンターまつり」は中止したが、12月の「ニュースポーツ交流会」は、感染対策を行った上で実施した。	28
— 【中止】	3回	1回	33%												
(6)都心に近い農業地域の活力向上	「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。		○	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう!	年間来場者数				4,250人	4,500人	大	通年 (4月,12月~)	△	緊急事態宣言等で開催できない期間を除き、新型コロナウイルス感染症対策として人数制限等を行った上で6回実施し、合計で365人の来場があった。	29
— 【中止】	4,050人	365人	9%												
(7)地域の魅力の継承	子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。		○	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	3者が学習支援を実施する学校等の数				7校/年	9校/年	小	6月~11月	◎	【農家】6月に矢賀うり植付指導を、11月に矢賀ちしゃ植付指導を実施した。【歴史】7月に七社寺でのガイドを、10月に見立山・工兵橋の授業を、11月に七社寺でのガイドを実施した。	30
3校/年	5校/年	5校/年	100%												

東区まちづくりプラン 2021年度（令和3年度）実績

4 おもてなしの心あふれるまちづくり

項目	課題と対応(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標				2025年度	2030年度	新型コロナ 感染症 の影響	実施時期 (変更があった 場合の 実施時期)	評価	取組内容	検証 シート ページ	
					2020年度 実績	2021年度(令和3年度)										
					目標値	実績	進捗率									
(1)陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区(エキキタ)のにぎわいづくり	「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。		○	(ア)「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう!	イベント等でのエキキターレの利用日数	6日/年	40日/年	17日/年	43%	100日/年	150日/年	大	通年	△	元気なまちづくりプロジェクト補助金を活用して購入したおしゃれなテーブルセット、ワンタッチ式マルシェ等のレンタルを開始し、イベントをしやすい環境整備を行った。	31
				(イ)「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう!	参加企業・店舗数	25企業・店舗	26企業・店舗	26企業・店舗	100%	30企業・店舗	35企業・店舗	小	9月~1月	◎	3団体の新規参加があり、計26企業・店舗での開催となった。(2つの既存団体が参加を辞退した。)	32
				(ウ)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう! 【再掲】3-(1)-(ア)	年間参加者数	— 【中止】	838人	91人	11%	871人	911人	大	通年 (3月)	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、「ふたばの日」の定期ガイドは2月まで中止したが、3月28日は感染対策を行った上で実施した。事前予約制の「いつでもガイド」は、緊急事態宣言等の期間以外に12回実施した。	19
				(エ)「夏の夜、祈りと平和のタベ」の来訪者を増やそう 【再掲】3-(1)-(イ)	イベントの来訪者数	— 【中止】	2,050人	— 【中止】	—	2,250人	2,500人	大	8月 (一)	中止	2020年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、「夏の夜、祈りと平和のタベ」の中止を決定した。	20
				(オ)「魅力と活力向上推進事業補助金」 【再掲】3-(3)	新規申請件数	2件/年	4件以上/年	2件/年	50%	4件以上/年	4件以上/年	大	通年	○	1、2次募集でそれぞれ1件申請を受け付け、実績は2件となった。新規申請の掘り起こしを行うために各地区社会福祉協議会や連合町内会等に向けて、チラシや手引きを送付した。	24
(2)産直市などによる交流の場の創出	「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。		○	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう! 【再掲】3-(6)	年間来場者数	— 【中止】	4,050人	365人	9%	4,250人	4,500人	大	通年 (4月,12月~)	△	緊急事態宣言等で開催できない期間を除き、新型コロナウイルス感染症対策として人数制限等を行った上で6回実施し、合計で365人の来場があった。	29
(3)公共空間(公園等)を活用した花づくり	花づくりを行える公園等の公共用地で、まだ活用されていない場所が見受けられるため、支援制度の広報に力を入れ、活動を充実・強化する。		○	東区を花でいっぱいにしよう!	花づくり活動団体数	45団体	43団体	47団体	233%	50団体	55団体	小	通年	◎	既存団体にチラシ等の案内を提供し、知人の方などに本事業を紹介してもらうよう依頼する等の広報を行った結果、活動団体が3団体増加した。(既存の1団体から活動中止の申し出があった。)	33